



ポポンデッタに到着！

遅くなりましたが、遂に任地であるポポンデッタに本赴任しました。今回は、首都ポートモレスビーからポポンデッタまで移動した日について書こうと思います。見るものすべてが新しくとても印象に残る1日でした。私の感じた驚きと期待、不安、興奮した気持ちが少しでも伝われば幸いです。

【写真と一緒に振り返ります♪】



こんな感じの小さいプロペラ式の小型飛行機に乗ってポポンデッタへ。飛行時間30分未満。空からは、山々、小さな村、川、そしてパーム林が見えました。



早朝フライト。陸路がなく、移動手段が基本空路で、1日に多くて2本しか飛ばないので、この時間でもたくさんの人。よく遅延・キャンセル・定員オーバーになるようで、乗れるかヒヤヒヤでした。荷物は、2つまで（各16kg）無料。私は両方オーバーなので、Excess baggage counterでお支払い。



無事到着。
空港では、オロ州の教育庁の方々が出迎えてくれました。



歓迎の後は、これからお世話になる州の教育省、公立病院、警察などに挨拶に行きました。アスファルトで舗装された道路が1本あり、それを中心に小さな町が広がっています。首都と違い、外を歩けることに感動。



ポポンデッタ小学校に到着。到着すると、レッドカーペットの上を歩き、全校生徒の前へ。「オロ、オロ、オロカイワ〜（オロ州の言葉でようこそ）」と迎えられ、国歌を歌ってくれたり、教育長のスピーチがあったりと盛大な出迎えてでした。ちなみに、私も少しスピーチをしました。



MR. ROOSTER というフライドチキンのお店でお昼ご飯。ポポンデッタ市には、このようなレストランが2つしかありません。（ホテルにはピザ屋が併設されているところもあるらしい）なので、基本は3食自炊で食事をしています。



ポポンデッタには、中国系のスーパーマーケットがたくさんあります。「HQH」が2種類あり、新しい方が2階建てのポポンデッタで1番大きいです。他にも「PAPINDO」や「Wing Hay」というスーパーマーケットがあります。食べ物はもちろん、日用品、衣服、文房具なども店によってはあります。また、最近ホームセンターもできたようで、電化製品が売られています。

このような発展した面もありますが、ローカルなマーケットもあります。「オロカイワ マーケット」です。自ら育てたり仕入れたりの野菜や果物がテーブルの上に並べられて売られています。また、違う号で詳しく説明しますが、スーパーで買うより安いものがたくさんあります。地元ならではの野菜も手に入ります。今だとマンゴーが1個50トヤ(20円) or 1キナ(40円)です。もちろん、とてもジューシーで甘いです。



一通りポポンデッタの町にあるスーパーやマーケットを回った後、これから1年7か月住む住居に行きました。JICA 隊員の住居ってどうなっているんだろう？と疑問に思っている人もいるかもしれないので、紹介します。

- ① 職場から徒歩2分の距離で、大家さんと同じ敷地に住んでいます。(安心)
- ② 周囲はココナッツ、バナナ、マンゴーなどフルーツの木に囲まれている平屋の住居です。隣には、PNGのお米売っているビジネスマンが住んでいます。
- ③ 床はタイル。ドアには隙間があるので、掃き掃除は欠かせません。(色々な生物が入り来りします(笑)) ガラス窓はなく、鉄格子と網戸。ドアは鉄格子の外ドアと2重ロックのチェーン付き内ドアです。
- ④ 2ベッドルーム・キッチン(冷蔵庫あり)・リビング(エアコンあり⇒電気代高くてほぼ使わない)・シャワールーム・外にバルコニーあり。(ここで洗濯物干します)
- ⑤ 水洗トイレ完備。シャワーは“水”シャワー
- ⑥ ベットには、蚊帳をセット。蚊に刺されないように毎日対策。

大家さんが飼っている猫。名前はなんと「ネコ」。懐いていますが、引っかけないように注意。(狂犬病予防)全部で、犬4匹・猫3匹がいます。犬はおとなしいですが、番犬にもなっています。



@bridge_png_jpn(Instagramのアカウント)もよろしくお願ひします。



JICAのHPに活動の概要・写真と合わせて、PNG海外協力隊だより(WANTAIM)が載せていただけることになりました。JICA海外協力隊になったきっかけも書きましたので、ぜひ興味ある方はお読みください。

https://www.jica.go.jp/overseas/png/activities/1554359_14098.html (PNG海外協力隊だより 鈴木 佑 (青少年活動) | 海外での取り組み JICA)